

EPOC Release 5用日本語入力・表示環境ソフト



ユーザーズ マニュアル

Psion、Series 5mx、Revo、PSIWin2 は、英国 Psion Computer PLC 社の商標もしくは登録商標です。EPOC は Symbian 社の登録商標です。Adobe、Acrobat は、米国 Adobe Systems Incorporated 社の商標もしくは登録商標です。Microsoft、Windows は、米国 Microsoft 社商標もしくは登録商標です。Mac、Macintosh は米国 Apple Computer 社の商標もしくは登録商標です。タイプバンクは、株式会社タイプバンクの登録商標です。他の全てのブランド名または製品名は、それらの所有者の商標もしくは登録商標です。

収録された書体（TB Gothic、TBG Mono）の著作権及びその他一切の知的所有権は株式会社タイプバンクが所有しています。UniCODE ビットマップフォント変換はエヌフォー・メディア研究所が行いました。





■第1章 UniFEP V2って何？

UniFEP V2は、OSとしてER5(EPOC Release5)が搭載されている製品、SERIES 5mx、Revoで動作する日本語環境ソフトウェアです。

UniFEPという名称はUnicodeを使ったFEP(フロントエンドプロセッサ)という意味合いから出来た製品名で、「ユニフェップ」と読みます。その名の通り、文字コードにUnicodeをベースとしたUTF-8を採用しています。このことにより、従来のASCIIコードにより定義された全ての文字と互換性を保ちながら、Unicodeで定義された文字を表現することが出来ます。また、WindowsやMacintoshで採用されているシフトJISやその他の文字コードで作成されたテキストとの互換性を保つ為に、いくつかのエンコーダーを搭載しております。

その他、標準で変換辞書や、学習機能、タイプバンクフォントを搭載しており、快適な日本語環境を提供致します。

●対応アプリケーション

UniFEPは、対応機種の内蔵アプリケーションのほとんどに対応しています。また、システムの中で一部を除いて、日本語が使用できる設計になっています。この為、ファイル名やフォルダ名に日本語を使用することも出来ます。インストール後はアプリケーションのメニューも日本語に置き変わります。

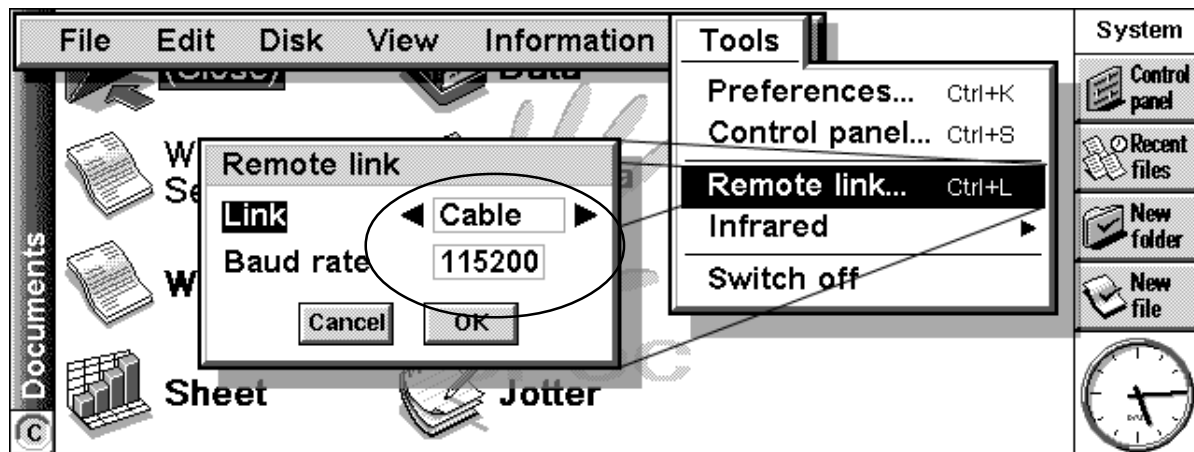
※2000年8月現在、5mxに搭載されているComms、同梱のPSIWinに収録されているWebには対応しておりません

※PSIWin、MacConnectは日本語に対応していない為、ファイル名やフォルダ名に日本語を用いた場合、正常にバックアップが出来ない場合があります。このため、ファイル名、フォルダ名にはアルファベットを用いることをお奨め致します

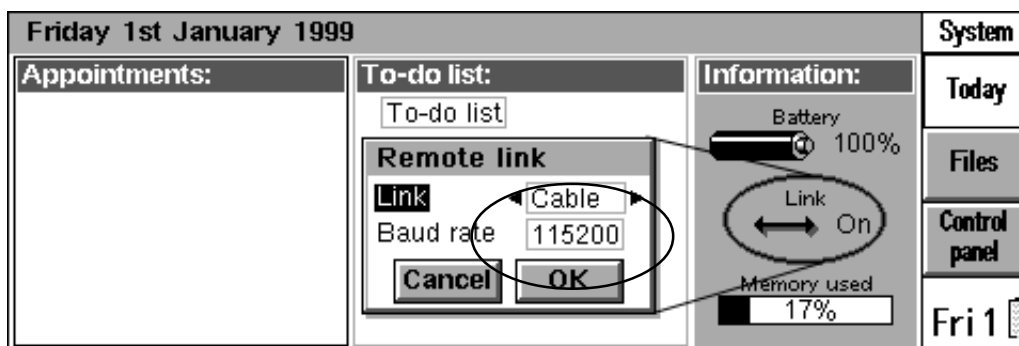


■第2章 UniFEP のインストールの前に

UniFEP のインストールは PC と PSION マシンを接続して PC から行います。PC と PSION マシンで通信を行うには、まず PSION マシンの Remote link を On にします。System 画面の状態、Tools メニューの "Remote link" を開いて Link の接続手段とスピードを設定します。



Revo をお使いの場合は、Today view(今日の予定)から直接設定することも出来ます。



- WindowsPC をお使いの場合には PSION マシン本体付属の PSIWin2 をインストールしておく必要があります。PSIWin2 の使用方法につきましては、PSIWin2 に付属のマニュアルを参照して下さい
- Macintosh をお使いの場合には MacConnect(別売)をインストールしておく必要があります。MacConnect の使用方法の詳細につきましては、MacConnect に付属のマニュアルを参照して下さい

※ MacConnect は PSION SERIES 5/5mx 用の接続ソフトウェアです。それ以外のマシン(Revo 等)で接続を行う場合にも、デスクトップ上のアイコンは PSION SERIES 5/5mx のアイコンが表示されますが、使用上は問題ありません。尚、2000 年 8 月現在では流通しているバージョンは 1.1.4 です。このバージョンでは MacOS9 に対応していない為、MacOS9 に対応させる為には別途配付されているアップデータで Ver1.2 にアップデートすることが必要です。アップデータは以下の URL にて配付しています

http://www2.enfour.co.jp/psion/support/maccon_upg.html

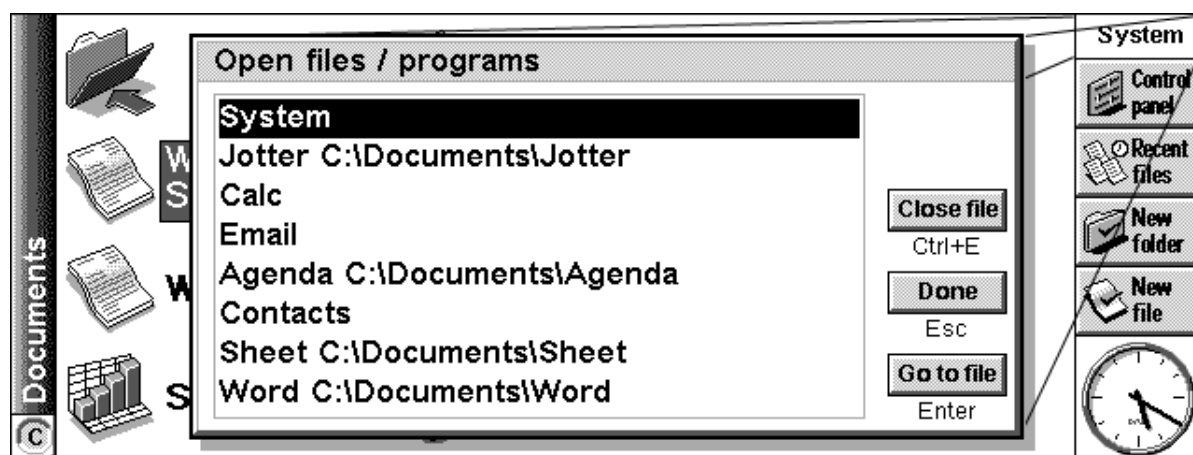
また、シリアルポートを持たない機種と接続する場合には、USB からシリアルへの変換アダプターが別途必要となります。



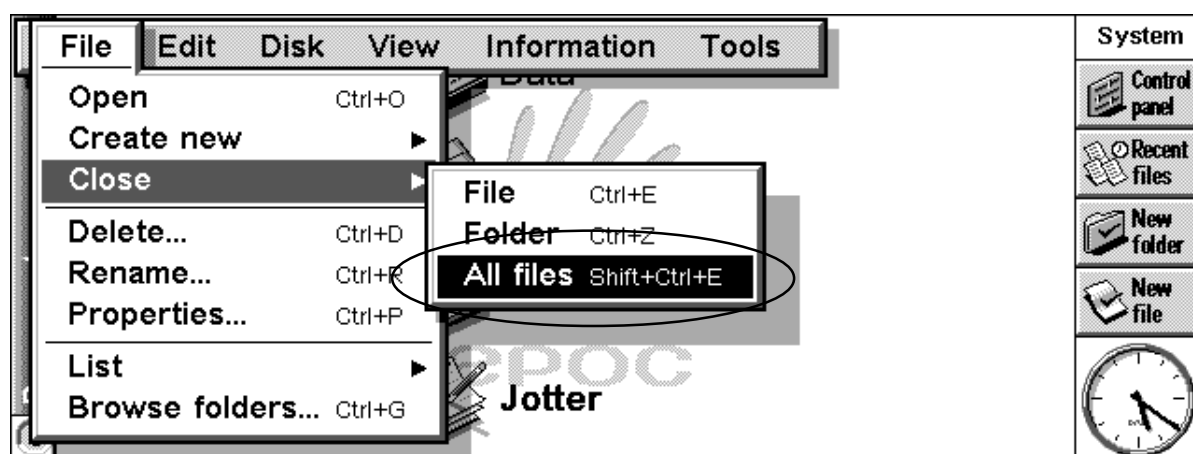
■第3章 インストールについて

インストールはPSION マシンの全てのアプリケーションを終了してから行って下さい。

画面右上のアプリケーション名もしくはファイル名が表示されているエリアをタップすると現在開いているプログラムとファイルを確認することが出来ます。



全てのアプリケーションを終了させるにはSystem画面のツールバーでFilesが選択されている状態でMenuを開いて、Fileメニューの"Close"から"All files"を選択します。



●既に UniFEP をお使いの場合

以前のバージョンをインストールして-いる場合は、以前のUniFEPを削除する必要があります。ここでは、Add/removeを使って以前に作成された書類を残したまま削除する方法とハードリセットを行ってから、インストールする方法を紹介します。

○ Add/remove を使って以前の環境を削除するには

- 1.System 画面の Control panel より UniFEP 環境設定を開きます
- 2.表示の項目より"表示の切り替え"のチェックを外します
- 3.OK を押してダイアログを閉じます
- 4.リセットを行います



◆ Revo の場合

自動的にリセットを促すダイアログが表示されますので、"Yes" を選択して下さい。



◆ SERIES 5mx の場合

背面バックアップ電池収納部脇のリセットホールをペーパークリップを伸ばした様なもので押してから電源キーを押します。

5. リセットが行われると、ビビッと短いビープ音が2回なり、システムの再起動が始まります

6. System 画面の Control panel より "Add/remove" を開きます

7. UniFEP をインストールすると追加されるコンポーネントを選択して "Remove" していきます。
削除するコンポーネントは以下の通りです

◆ Revo 用 UniFEP の場合

- ・ Typebank Gothic Unicode font 1.10
- ・ UniFEP for REVO 1.00
- ・ UniFEP Japanese IM 1.50

◆ UniFEP for 5mx の場合

- ・ UniFEP Japanese IM 1.00
- ・ PrinterDrivers J 1.00
- ・ English Localization 1.00
- ・ Typebank Gothic Unicode font 1.10
- ・ UniFEP/UniDict DLL 1.15
- ・ Enfour Unicode library 1.18
- ・ UniFEP for 5mx 1.00



○ハードリセットを行ってからのインストール

より安定した環境を構築する為に可能であればハードリセットを行ってからのインストールをお奨めします。その手順は以下の通りです。

1.PSIWin、もしくはMacConnectを使ってPCにPSIONをマウントします。PSIONに既に入力されている必要な各書類をPCのハードディスク等にコピーして保存します。

※ハードリセットを行うと内蔵メモリの内容が消去される為、この様に事前に書類の保存が必要となります。5mxをお使いでCFカードメモリをお持ちの方はCFカードメモリに必要な各書類をコピーし、保存しておくことも可能です

2. ハードリセットを行います。

◆ 5mx

背面バックアップ電池収納部脇のリセットホールをペーパークリップを伸ばした様なもので押し、左右両シフトキーを押しながら電源キーを押します。ビッと短いビープ音が1回鳴りシステムが起動します。2回鳴った場合はもう1度やりなおします。

◆ Revo

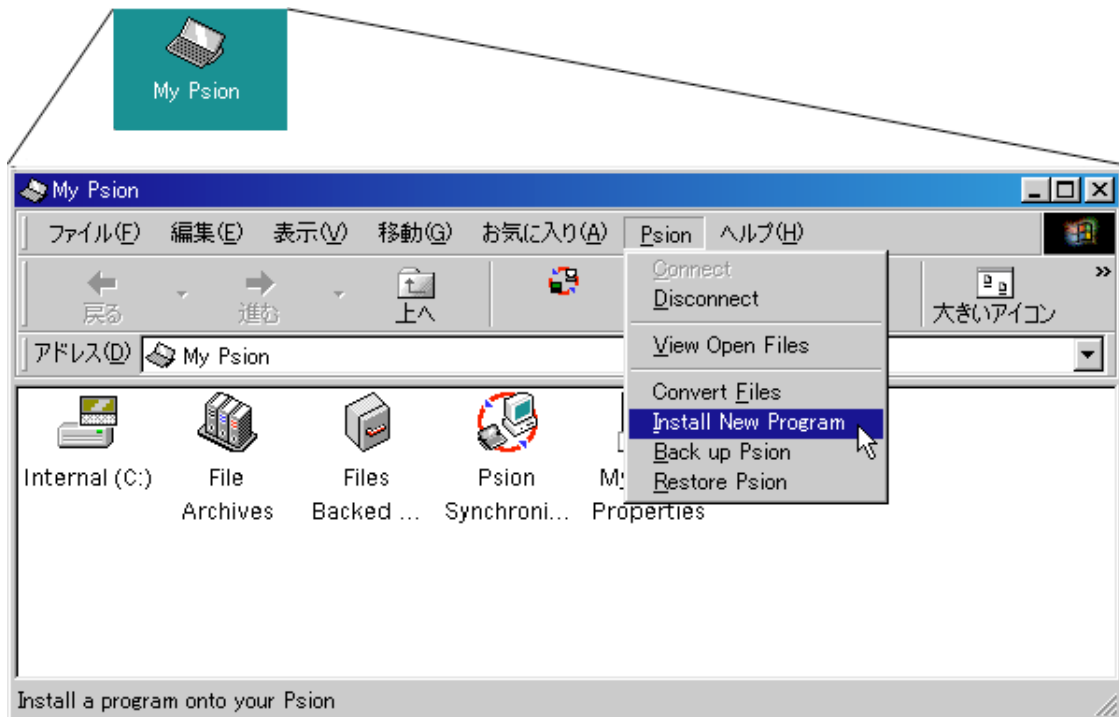
本体を開いた状態で現れる背面のリセットスイッチの1と2をペーパークリップを伸ばした様なもので両方同時におします。電源キーを押すと、ビッと短いビープ音が一回鳴りシステムが起動します。うまくリセット出来ない場合は5mxと同じ方法で作業して下さい。

以上で、UniFEP V2をインストールする準備が整いました。ハードリセット前に保存した書類はインストール後に戻して下さい。

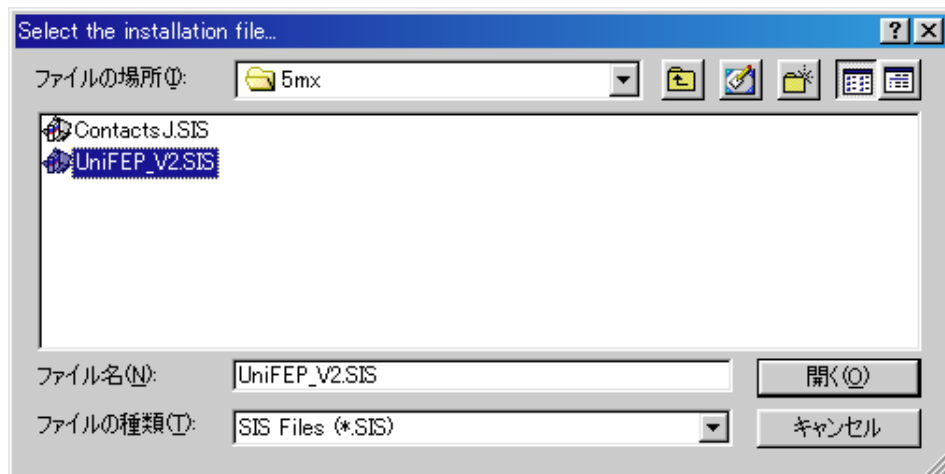


● WindowsPC からインストールするには

1. CD-ROM ドライブに UniFEP の CD-ROM を入れます。
2. デスクトップ上の「My Psion」アイコンを開いて、Psion メニューから "Install New Program" を選択します。

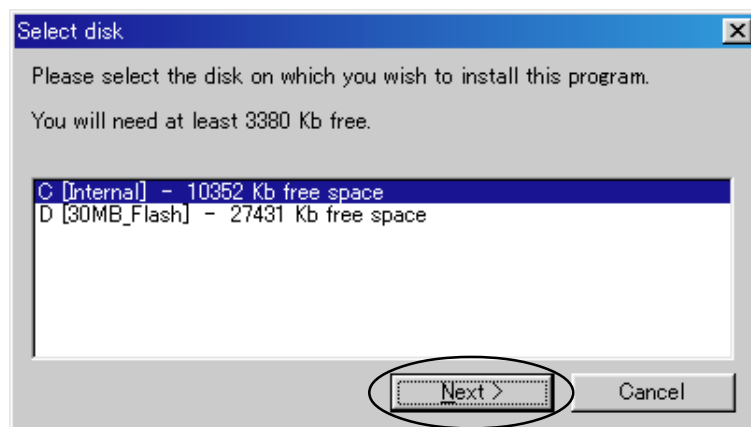


3. インストールするファイルは UniFEP V2 CD-ROM 内にある UniFEP フォルダの中の機種別フォルダより選択します。お使いの機種にあわせて、5mx、Revo それぞれのフォルダの中にある「UniFEP_V2.SIS」を選択して下さい

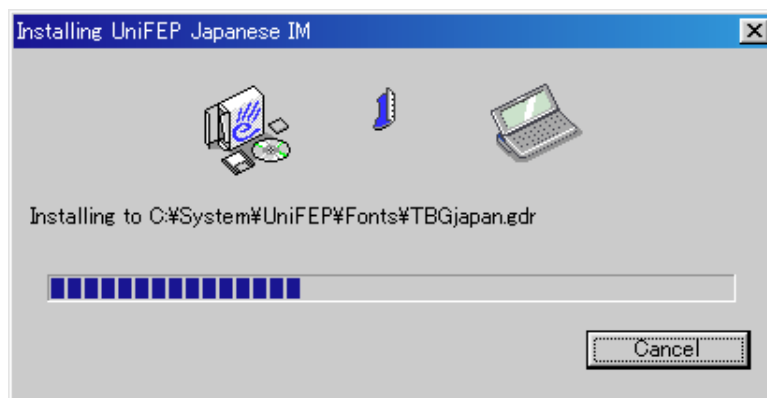


4. インストールするファイルを選択すると、Select Disk ダイアログでインストール先が表示されます。5mx の場合は C ドライブ(内蔵メモリ)の他に D ドライブ(CF カードメモリ)が選択可能です

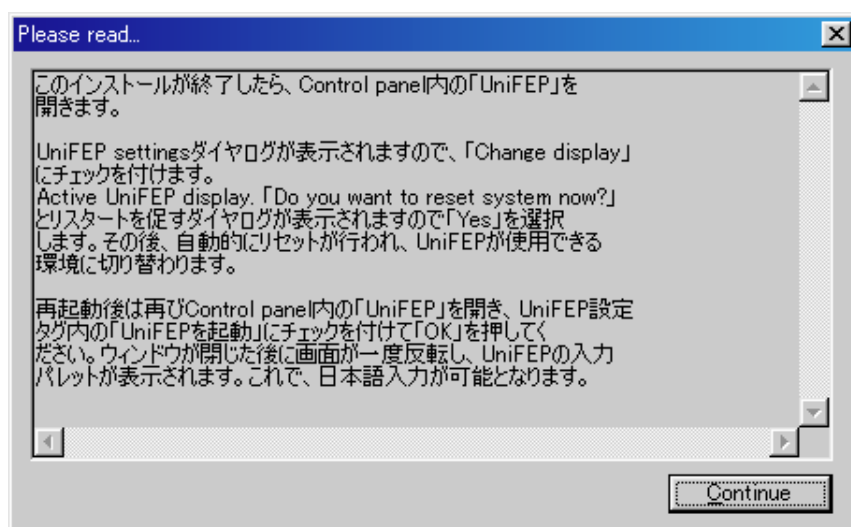




Next ボタンをクリックするとインストールが始まります



5. インストールが終了すると以下のダイアログが表示されますので、"Continue" ボタンをクリックして次へ進みます

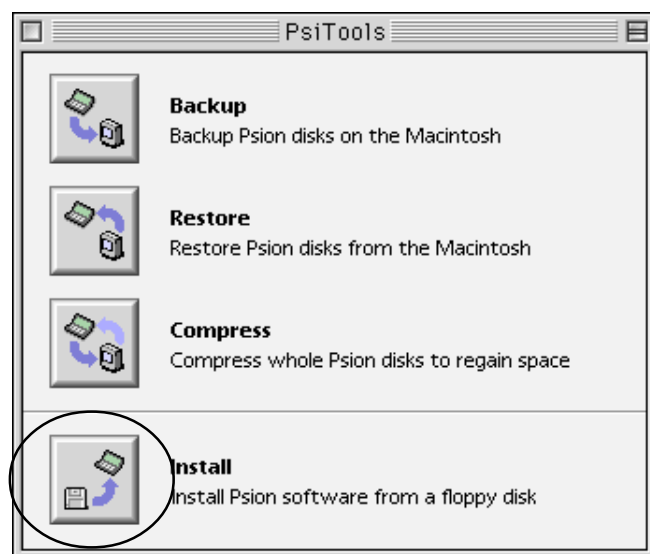


6. インストールが完了すると以下のダイアログが表示されます。続けて他のソフトをインストールしたい場合は、"Add Program" ボタンをクリックします。完了するには "Finish" をクリックします

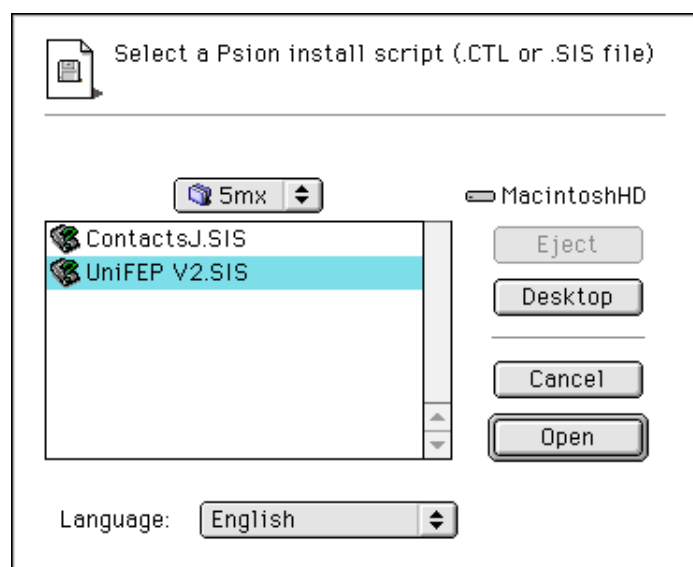


● Macintosh からインストールするには

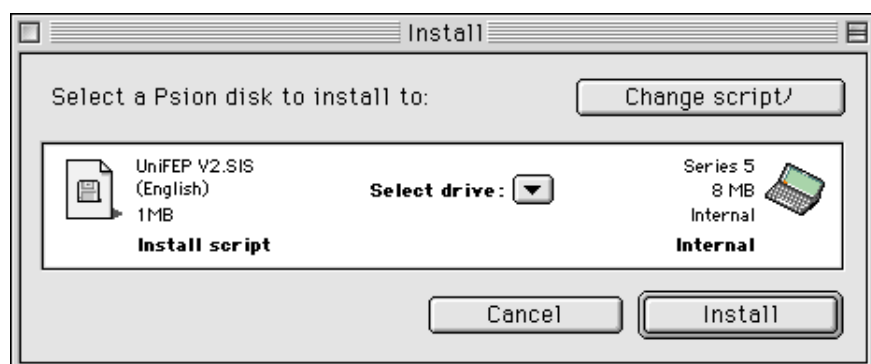
1. CD-ROM ドライブに UniFEP の CD-ROM を入れます
2. MacConnect の PSION メニューから PsiTools を選択します
3. PsiTools のダイアログで Install ボタンをクリックします



4. インストールするファイルは UniFEP V2 CD-ROM 内にある UniFEP フォルダの中の機種別フォルダより選択します。お使いの機種にあわせて、5mx、Revo それぞれのフォルダの中にある「UniFEP_V2.SIS」を選択して下さい

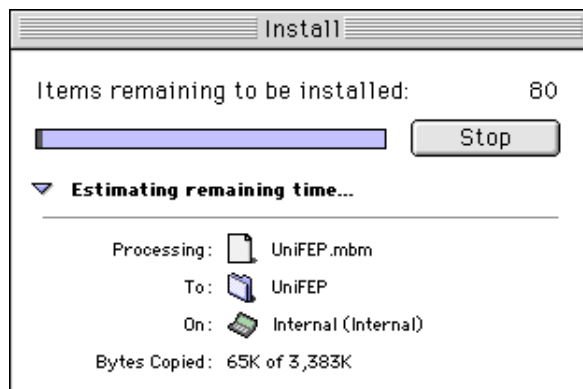


Open ボタンをクリックすると以下のダイアログが表示されます

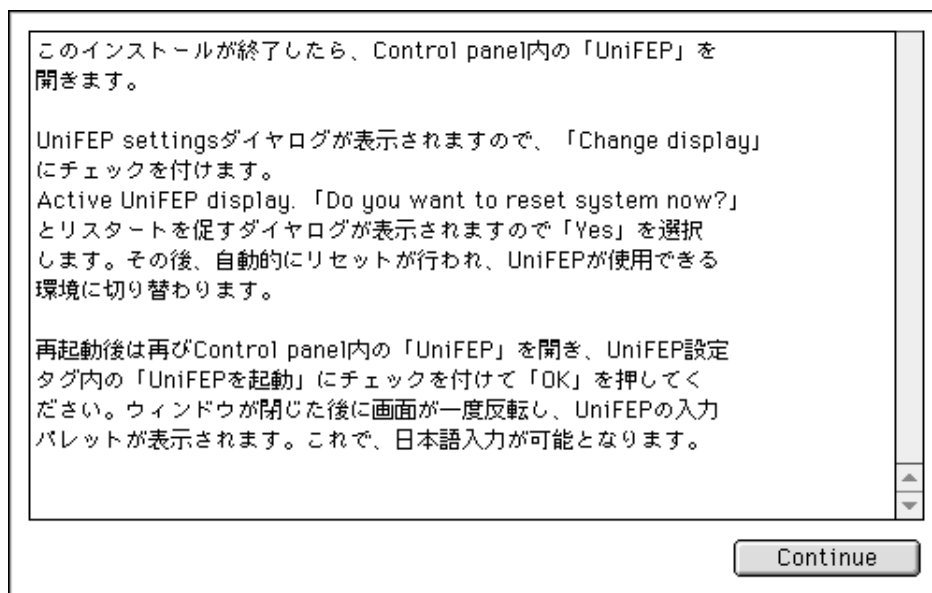


5.installダイアログの右側にインストール先のドライブが現れます。5mxの場合はCドライブ(内蔵メモリ)の他にDドライブ(CF カードメモリ)が選択可能です。

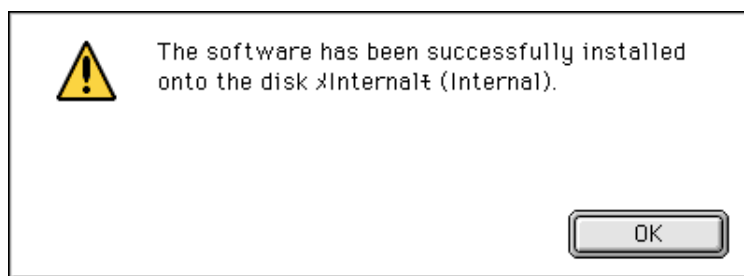
Install ボタンをクリックするとインストールが始まります



6. インストールがほぼ終了すると以下のダイアログが表示されますので、"Continue" ボタンをクリックして次へ進みます



7. インストールが完了すると以下のダイアログが表示されますので、OKボタンをクリックしてインストールを完了します。続けて他のソフトをインストールする場合は、3からの動作をくりかえします





■第4章 ContactsJのインストール

Contactsで日本語を使用する為にContactsJ.SISを用意しました。インストール後はラベル名が日本語になります。

●既に Contacts に情報を入力されている場合

ContactsJ.SISをインストールすると、既に存在しているContactsのファイルは日本語ラベルを含むテンプレートファイルと入れ替わります。この為、以前入力していたデータは消去されますので、ご注意下さい。

以前のデータを残したまま、ContactsJ.SISをインストールしたい場合は一度、ファイルメニューの"その他"(More)から"名刺の書き出し..."(Export contact...)を選択して、ファイルとして書きだして下さい。書きだしたファイルはContactsJ.SISをインストール後、ファイルメニューの"その他"から"名刺の読み込み..."を選択することにより、読み込むことが出来ます。

●以前に Contacts を使用したことがない場合

インストールには前章で説明したインストールの手順通りインストールを行います。5mxの場合はCドライブ(内蔵メモリ)の他にDドライブ(CFカードメモリ)が選択可能です。インストールにはUniFEPをインストールの際に続けて行っても、UniFEPをインストール後に行っても問題ありません。インストール後はラベル名に日本語を用いている為、UniFEPの機能が無効の状態ではラベル名は文字化けを起こします。その場合、次の章で説明する操作に基づいてUniFEPを有効にして下さい。

インストールを始めると次のダイアログが表示されます。

○Windows の場合



○ Macintosh の場合



問題なければ、Yes ボタンをクリックしてインストールを始めて下さい。

● Contacts について

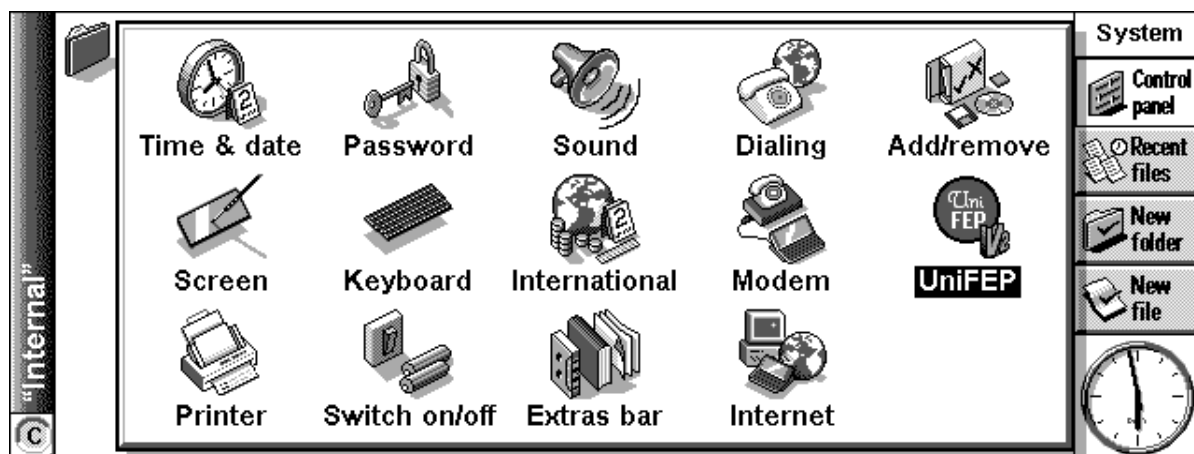
連絡簿アプリケーションとしてのContactsですが、他のアプリケーションとは異なる仕様になっています。

その違いとは、通常のファイルとしての保存が出来ない仕組みになっています。この為、複数の連絡簿を作成することは出来ません。これは、Email プログラムからアドレス帳としてEmail アドレスを読み込む機能を搭載していることにより、Email プログラムが複数のファイルにアクセス出来ない為です。ですから、例えばプライベートと仕事関係などで分けて、複数の住所録を作成したい場合はDataアプリケーションをお使い下さい。Dataアプリケーションではデフォルトで"名前:、URL:、メモ: "(Name/Subject、URL、Notes)というラベルが用意されていますが、これらのラベルはツールメニューの"ラベルの編集..."で変更、追加可能です。

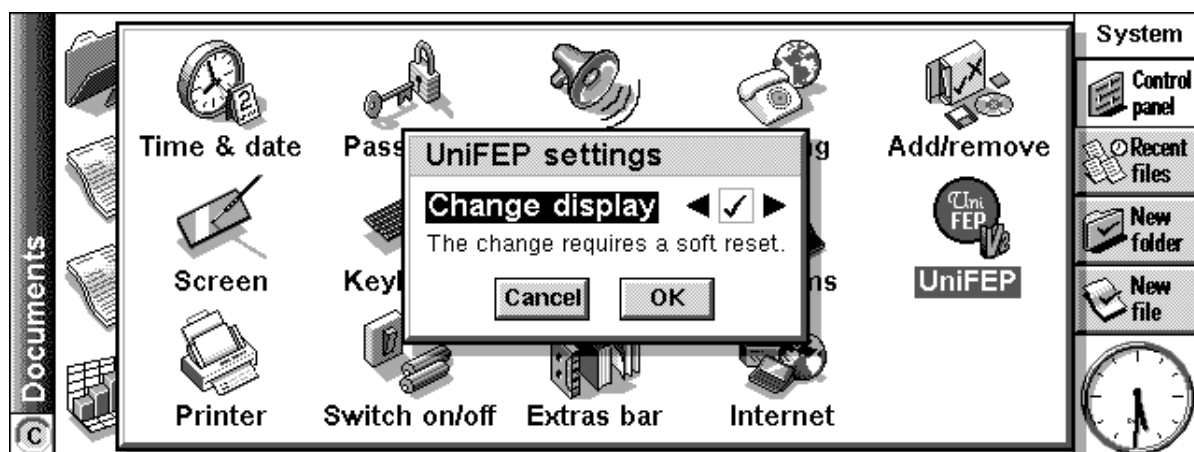


■第5章 UniFEP の起動

1. インストール後、Control panelを開き、UniFEPのアイコンをダブルタップ、もしくは選択してEnterキーを押します



2. UniFEP settingsのダイアログが表示されます



3. "Change display" にチェックを入れます

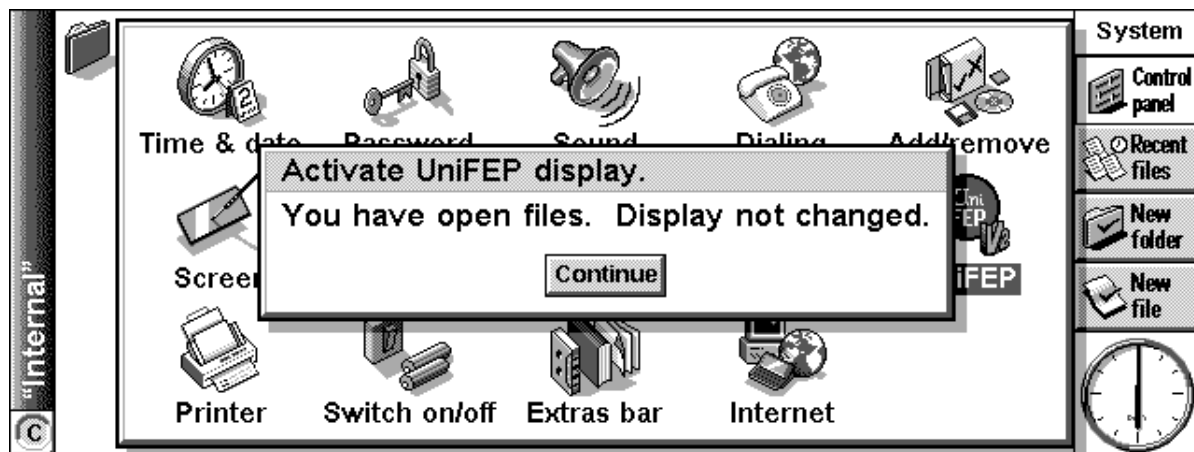
これをチェックすることで再起動後、各アプリケーションとシステム内の一部でUnicode、すなわち日本語が使用出来るようになります。

4. OK をタップすると次のダイアログが開きます。



5.Yes を選択するとビープ音が鳴り、自動的に本体のリセットがかかります

※もし次のダイアログが開いて、再起動が始まらないようであれば、開いているファイルと起動しているアプリケーションを全て閉じて下さい。この操作を行うにはSystem画面からMenuを開いて、Fileメニューの"Close" から"All files"を選択します。その後、再度 UniFEP Settings ダイアログを開いて上記の操作を行います(P5 参照)



6. 起動後、もう一度コントロールパネル(コンパネ)を開いて UniFEP のアイコンをタップします

7. 日本語の UniFEP 環境設定が開きます



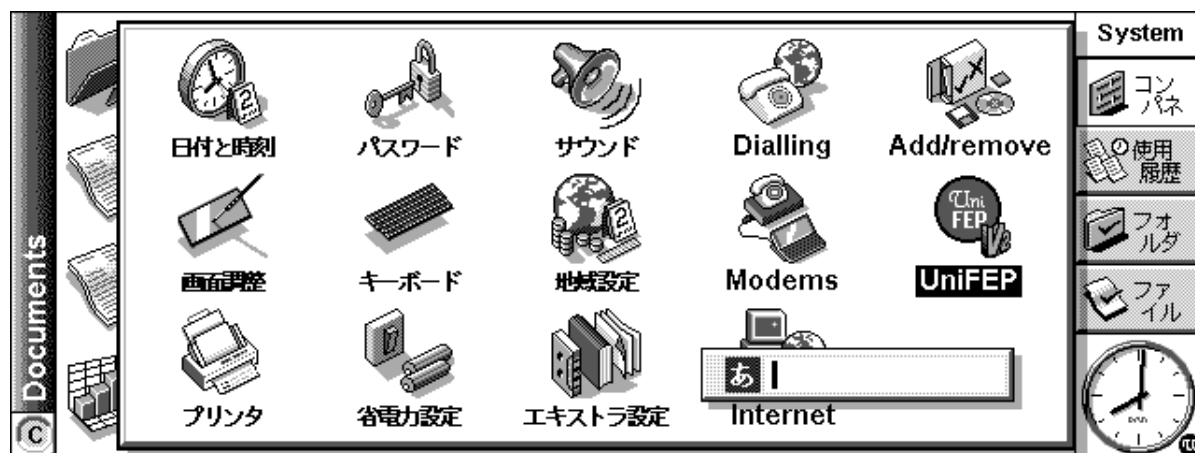
8. UniFEP 設定の項目で "UniFEP を起動" にチェックを入れます




9.OK をタップします

UniFEP が立ち上がり、各アプリケーションで日本語が入力、表示可能になります。
詳しい設定については後述します。

10. 画面に日本語入力の為の変換パレットが表示されます



以上で UniFEP を用いて、日本語の入力、表示を行う為の準備が出来ました。

UniFEP が起動している状態のときは、画面の右上もしくは右下隅に  マークが現れます。このマークの位置は後述します設定で移動可能です。

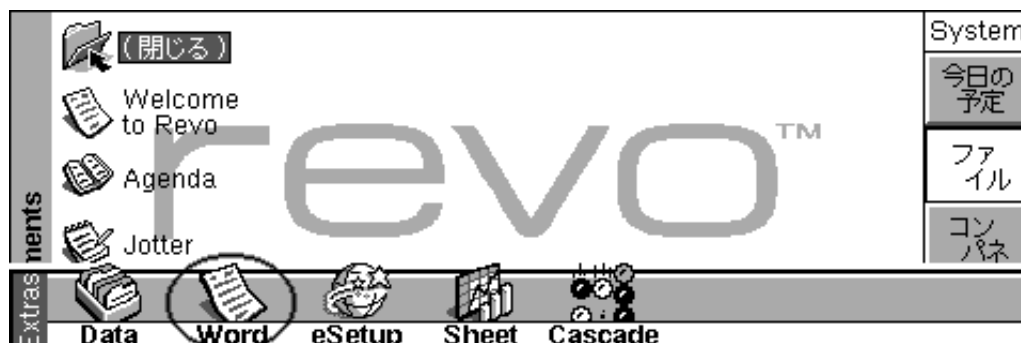
※リセットを行うことで、Remote link が Off になりますので、再度デスクトップ PC と接続する際には、System の Tools メニューから "Remote link..." を選択して、再設定して下さい(P4 参照)



■第6章 Wordで日本語入力を行うには

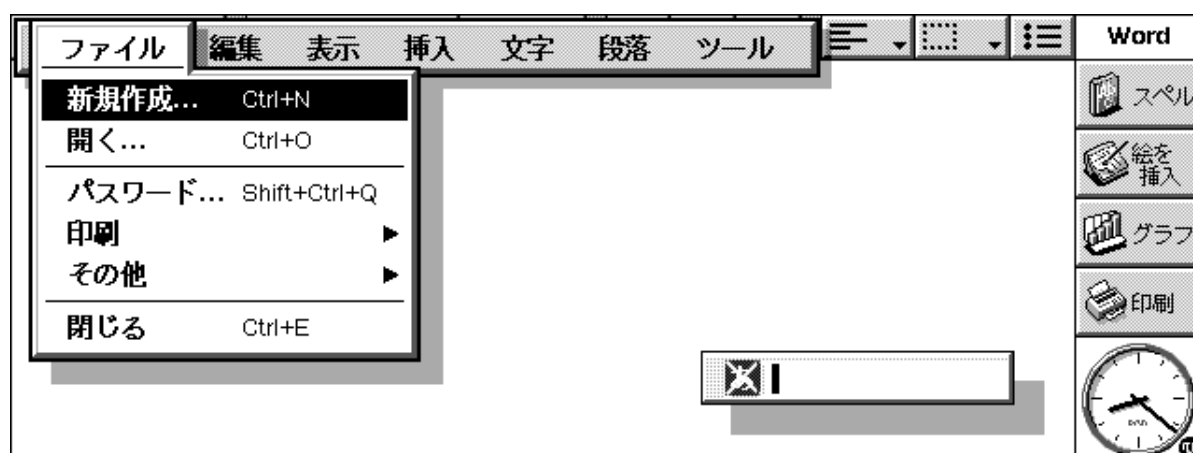
1.Wordの起動

WordのプログラムアイコンをタップしてWordを起動します。Revoの場合はExtrasをタップして開く Extras バーに Word アイコンがあります。

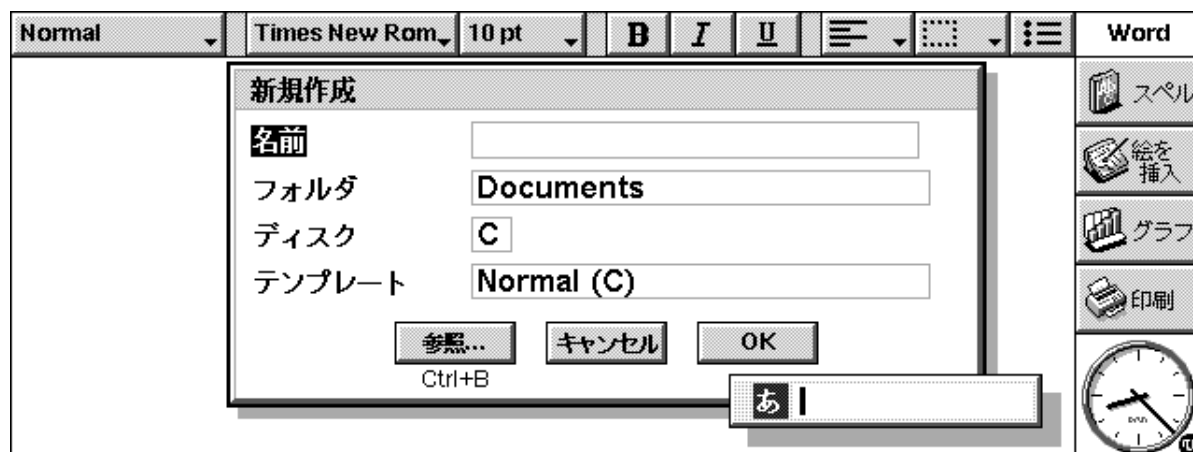


2. 新規書類の作成

Wordで新規書類を作成するときは、ファイルメニューより"新規作成..."を選びます。そして、開かれるダイアログにファイル名を入力します。入力にはローマ字入力で行います。変換にはスペースキーを用います。



※メニューを表示するには、画面左上隅の液晶の外側にあるメニューアイコンをタップするか、もしくは、スペースキーの左隣の Menu ボタンを押します

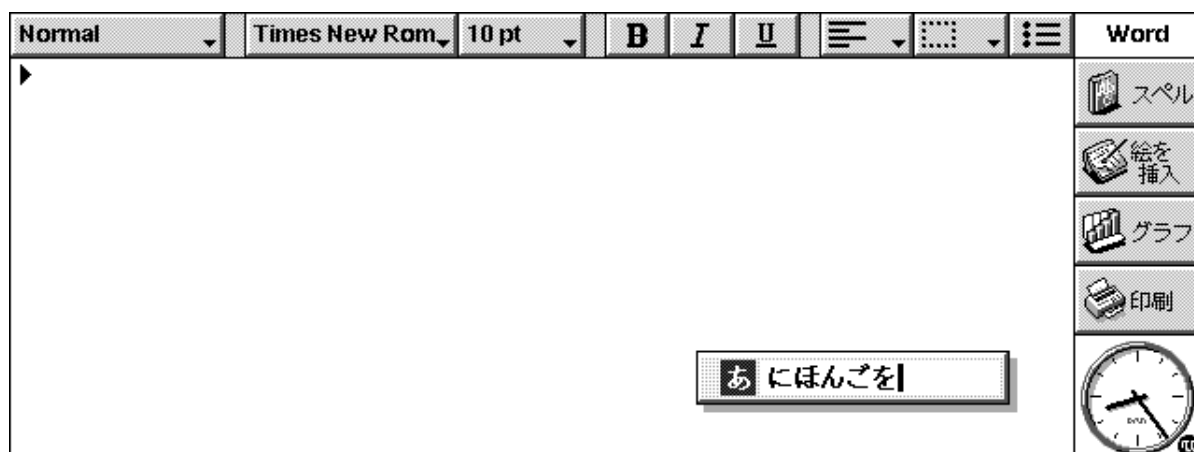


保存場所を指定して、"OK" をタップします。

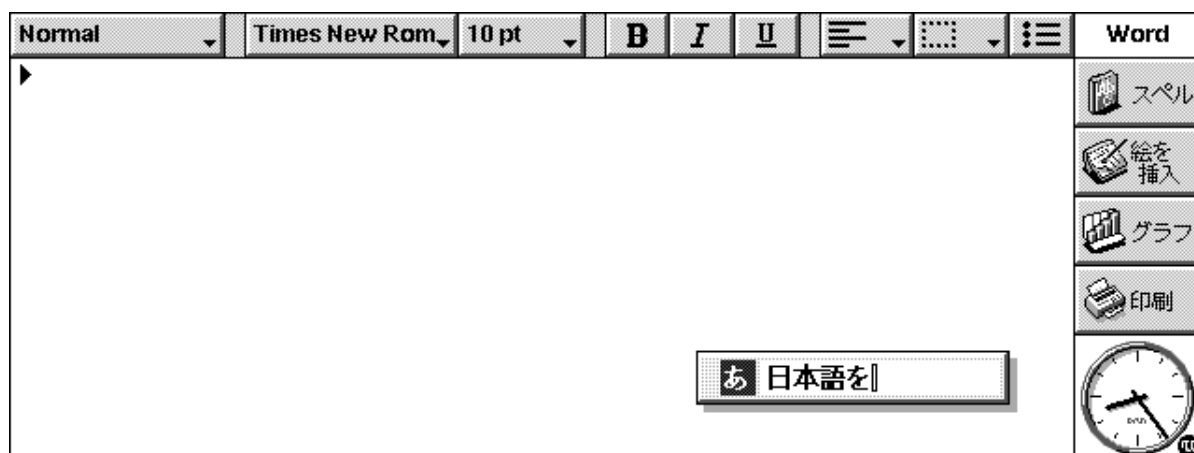


3. キーボードからの日本語入力

キーボードから日本語入力を始めて下さい。入力はローマ字入力のみとなっており、スペース・キーにより漢字変換を行います。選択、確定にはEnterキーを用います。

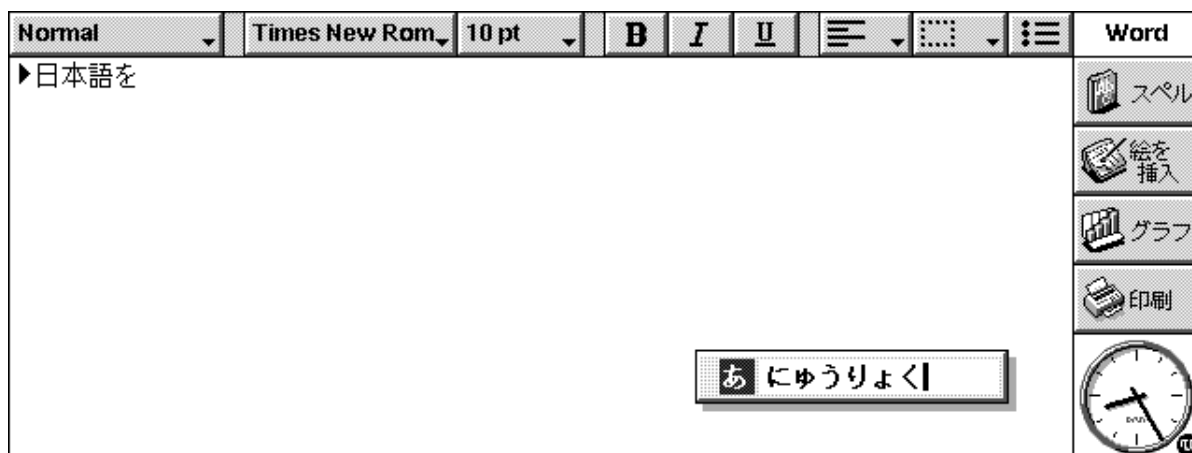


「にほんごを」と入力してスペースキーを押します。



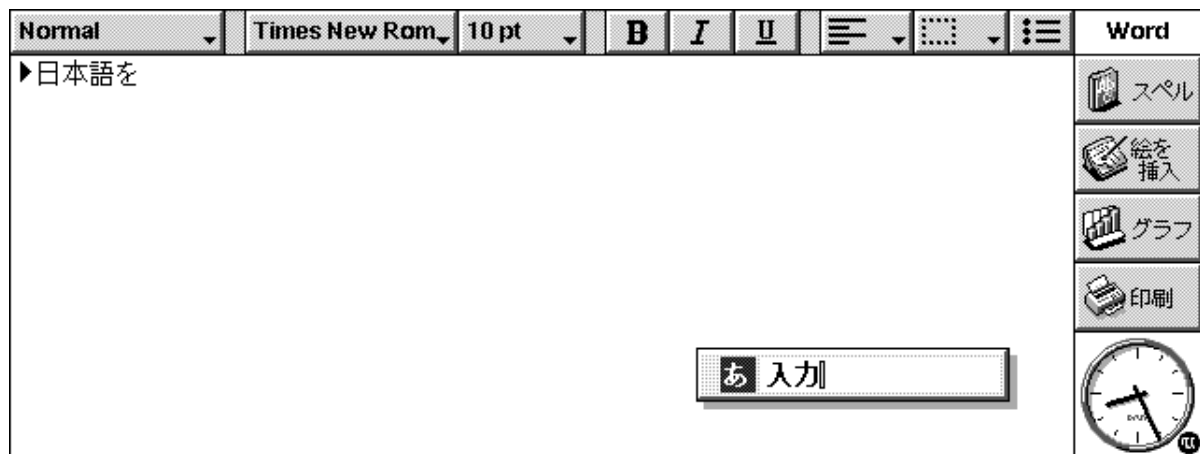
漢字に変換されます。

※ UniFEP のかな漢字変換は連文節変換には対応しておりません。単漢字変換になります

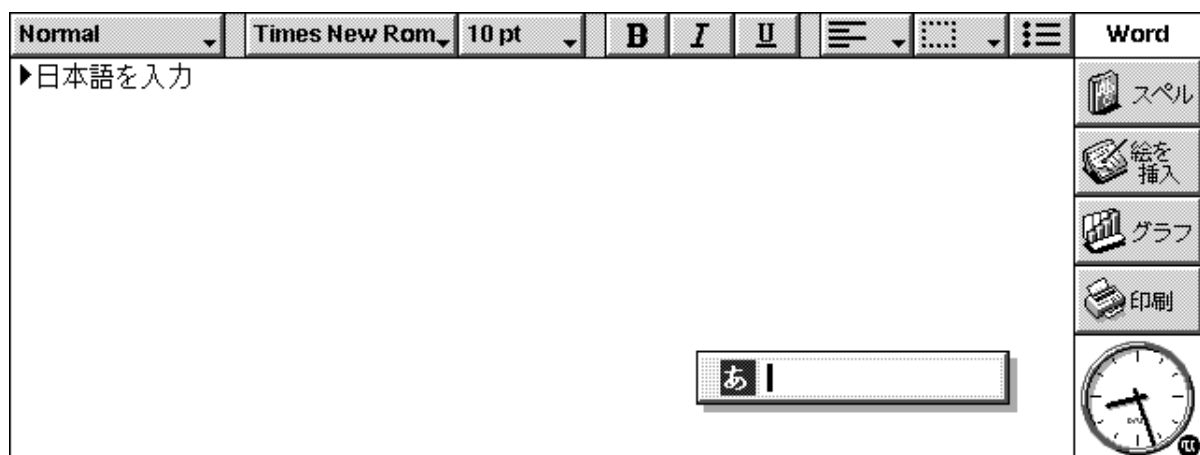


続けて「にゅうりょく」と入力します。





スペースキーにより漢字に変換されます。



途中で保存する場合はファイルメニューの"その他"より"別名で保存..."、もしくは"保存"を選択して下さい。

Wordは起動時に前回使用したファイルを常に表示します。保存しないでWordを終了した場合でも前回入力したデータはそのまま表示されます。但し、何らかのトラブルでリセットしたときなどは前回の保存時のデータに戻るため、こまめに保存することをお奨めします。

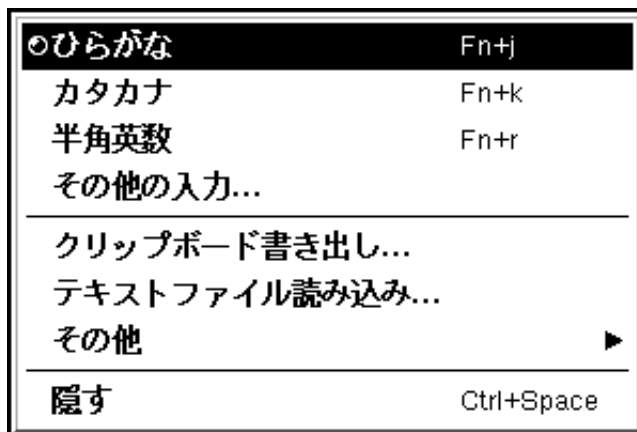
UniFEPの詳しい操作方法については後述の「UniFEPの操作について」をご覧ください。Wordを終了する時はファイルメニューの"閉じる"を選択します。





■第7章 UniFEP の操作について

UniFEP メニューを表示させるには変換バッファの"あ"、もしくは、画面隅のu マークをタップすることで開きます。また、Ctrl+Menu のショートカットから開くことも出来ます。メニュー内の各操作に関しては後述します。




●UniFEP の動作の切り替えについて

○UniFEP パレットを隠す

一時的に UniFEP を使用しない時に UniFEP メニューより、"隠す"を選択するか、Ctrl+Space のショートカットキーより UniFEP パレットを隠すことが出来ます。これは、UniFEP を用いずにアルファベット文字を入力する際に有効です。

○UniFEP をパレットを有効にする

UniFEP パレットを隠している状態のときに、有効に戻すには Ctrl+Space のショートカットを用いるか、もしくは、画面隅の  マークをタップして下さい。

○UniFEP の終了

コントロールパネル(コンパネ)より UniFEP 環境設定を開き、UniFEP 設定の項目で "UniFEP を起動" のチェックを外し、"OK" をタップすることにより、UniFEP の変換パレットが消えます。但し、この状態ではシステムの中で Unicode が有効になっている状態のままですので、完全に終了させる為には表示の項目より "表示切り換え" のチェックを外して、リセットする必要があります。

●入力について

○ひらがなを漢字に変換するには

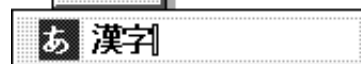
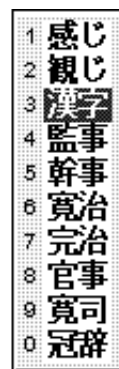
ひらがなモードでローマ字入力を行い、スペースキーにより、漢字に変換します。

再変換するにはスペースキーを続けて押します。

上下の矢印キーを用いて前候補、次候補を切り替えることが出来ます。

数回スペースキーを押すことにより、候補ウィンドウが表示されます。

候補の中から、目的の漢字を選択するにはスペースバー、もしくは矢印キーを用います。



○入力文字列の確定

確定にはEnterキーを用います。

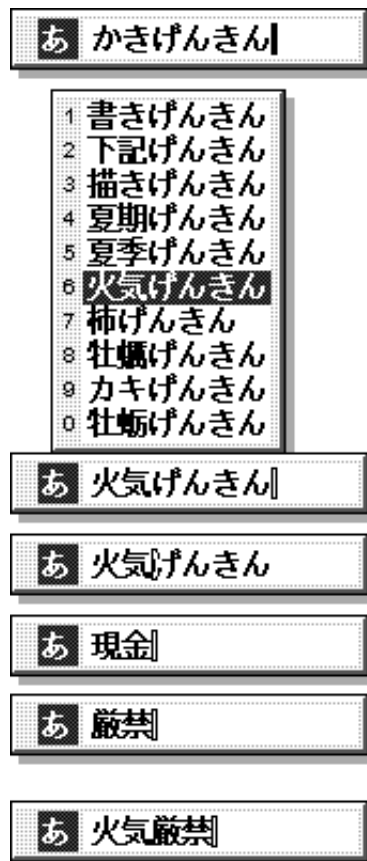
変換バッファ内で一度変換後、続けて文字を入力した場合も、最初に変換した文字列は確定されます。漢字に変換した後に、句読点を入力しても確定されます。

候補ウィンドウが表示されている状態では、候補ウィンドウの左に表示されている数字で確定することができます。

○複数の文節、辞書にない単語を入力するには

UniFEPは単文節変換です。従って、入力文節ごとに行いますが、複数の文節を一度に入力した場合や、辞書に目的の単語がない場合は、単語は単語を区切って入力することができます。

入力後変換候補の中から先頭が一致する語句がされている状態で、Ctrlキーを押しながら、左右の矢印キーを用いて、変換バッファ内のカーソルを移動させます。目的の漢字の後ろにカーソルがきたところで、Enterキーを押します。これを続けて行なうことで目的の漢字が入力出来ます。このようにして一度入力した単語は次回からは学習機能により一度で変換することが可能です。



●入力文字の切り替えについて

入力文字を切り替えるにはUniFEPメニュー、もしくはショートカットキーにより切り替えます。

○ひらがなを入力する場合

UniFEPメニューより、ひらがなを選択、もしくは、Fn+Jのショートカットキーを用いることにより、ひらがなで入力することができます。

○カタカナを入力する場合

UniFEPメニューより、カタカナを選択、もしくは、Fn+Kのショートカットキーを用いることにより、カタカナで入力することができます。

○ローマ字を入力する場合

UniFEPメニューより、ローマ字を選択、もしくは、Fn+Rのショートカットキーを用いることにより、ローマ字で入力することができます。

※通常、英字を入力するには、ローマ字を選択することで入力しますが、"UniFEPを隠す"を用いることにより、従来の方式で英字を入力することができます。これはUniFEPから入力出来ないダイアログに入力する場合に有効です。



○入力モードの変更

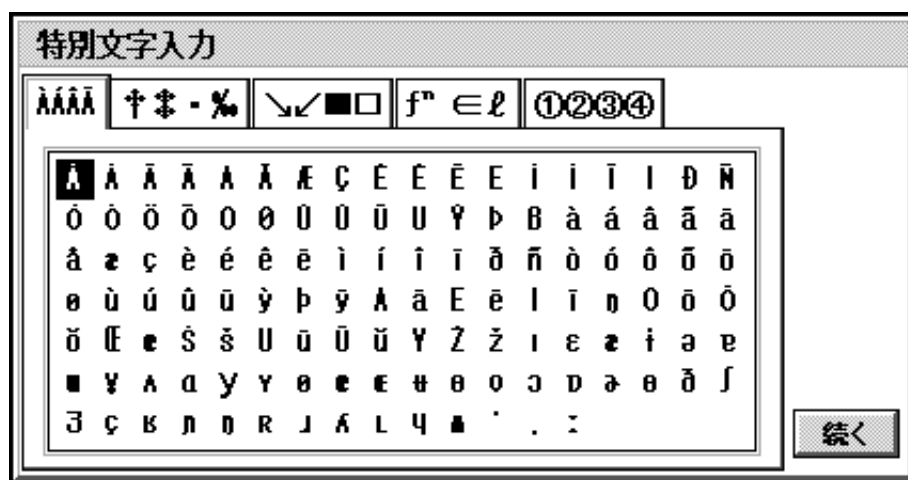
UniFEP メニューより、"入力モード..."を選択することにより、"モードの選択"のダイアログが表示されます。ここで入力文字の種類を選択して"OK"することにより、その文字での入力が可能になります。



○その他

◆特別文字入力

図形やマーク、修飾数字などを入力するときに使用します。



◆コード入力

文字コード番号で入力するときに使用します。



◆漢字分解表

漢字の部首や一部のつくりから漢字を検索して入力するときに使用します。

漢字分解表

(0 Kanji selected)

Clear

続く

◆単語登録

入力していて変換出来ない語句があった場合に、ユーザー辞書を作成することで次からは変換候補に現れます。ユーザー辞書への単語登録はここから行うことができます。

単語の登録

読み かぶ

単語 #1

単語 #2

単語 #3

単語 #4

単語 #5

次へ キャンセル

"読み"にひらがなで入力し、"次へ"を選択して読みに対する漢字を入力します。

単語の登録

読み かぶ

単語 #1 株式会社

単語 #2 (株)

単語 #3

単語 #4

単語 #5

登録 キャンセル

"登録"を選択するとユーザー辞書への登録処理が行われます。登録した語句を有効にするには、一度、UniFEP環境設の"UniFEP設定"で"UniFEPを起動"のチェックを外して、UniFEPパレットを閉じて、再度チェックを入れてパレットを開き直す必要があります。



●テキストの書き出しと読み込み

UniFEPはテキストの書き出しと読み込み機能を備えています。各プラットフォームに合わせたエンコード機能を備えておりますので、UniFEPで入力した文字列をテキストファイルに書き出し、デスクトップPCで使うことができます。また、他のソフトで入力したテキストファイルやデスクトップで作成したものを、各アプリケーションに読み込むこともできます。

○クリップボード書き出し

テキストファイルを書き出す為には、まずアプリケーションで入力した文章を選択して"コピー"(Ctrl+c)します。

その後、UniFEPメニューの"クリップボード書き出し..."を選択することにより、書き出しファイルを作る為のダイアログボックスが表示されます。

ファイル名と保存するフォルダ、ディスク、ファイル形式を指定します。ファイル形式には、"Windows"、"MacOS"、"カスタム"が用意されています。"カスタム"を選択した際にWindowsPC、Macintosh以外のPC用にエンコーディングと改行コードを指定することができます。

その後、"OK"をタップすることで指定した場所にPlain text(テキストのみ)形式のテキストファイルが保存されます。書きだしたテキストファイルはPCに転送して読み込むことが可能です。

※WindowsPCに転送することを前提として、クリップボード書き出しを行う場合は、ファイル名を"～.txt"として下さい。拡張子である".txt"をファイル名の末尾に付けることによってテキストファイルとして認識します

※書き出したテキストファイルをMacintoshに転送した場合は、アイコンをダブルクリックする操作では、そのファイルを開くことが出来ません。これは、クリエイタが"EPOC"に定義されている為です。Microsoft Word等のワープロソフトで開く場合には、まず、アプリケーションを立ち上げてからメニューの"開く"より、該当ファイルを選択して読み込んで下さい。もしくは、File Buddy等のクリエイタを変更するMacintosh用のユーティリティを用いて、クリエイタとタイプを変更することにより、テキストファイルとして定義することが可能です



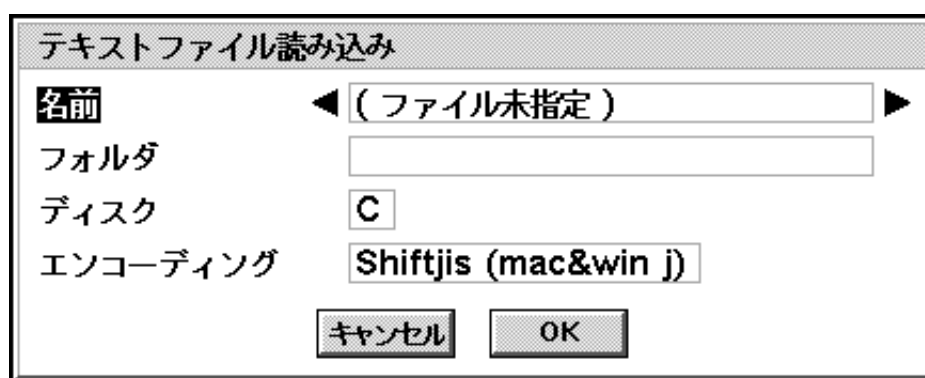
○テキストファイル読み込み

デスクトップ PC で作成した Plain text(テキストのみ)形式のテキストファイルを PSION に転送後、各アプリケーションのカーソルのある位置に挿入することができます。

UniFEP メニューの "テキストファイル読み込み ..." を選択することにより、テキストファイルを読み込む為のダイアログボックスが表示されます。

ファイル名と保存してあるフォルダ、ディスク、エンコーディングを指定します。エンコーディングにデスクトップで保存した形式を選択して "OK" をタップすることで、テキストがカーソル位置に挿入されます。

※エンコーディングの指定は Macintosh もしくは Windows をご使用であれば通常 "Shiftjis (mac&win j)" を選択して下さい





■第8章 PC との連携について

クリップボード書き出し、テキストファイル読み込み機能を用いて、テキストデータを介して、デスクトップPCとデータの送受信を行うことが可能です。ここでは、各アプリケーションでのデスクトップとの連携方法について説明します。

● Word(ワープロ)

デスクトップPCで入力したテキストデータは"テキストファイル読み込み"機能を用いて、カーソルの位置にテキストを挿入することが出来ます。また、PSIONのWordアプリケーションで入力したテキストは"クリップボード書き出し"機能でテキストファイルを作成して、デスクトップPCに転送することが出来ます。

● Sheet(表計算)

デスクトップPCで作成した表計算のデータは、まずデスクトップPC上でタブ区切りテキストの形式で保存します。PSIONに転送後はSheetアプリケーションでセルを選択後"テキストファイル読み込み"を用いて、該当ファイルを読み込んで下さい。

Sheetアプリケーションで入力したデータをデスクトップPCに転送するには全てのセルを選択したあと Copy(Ctrl+c)して、"クリップボード書き出し"でテキストファイルを作成して下さい。作成したテキストファイルはタブ区切りテキストとなります。その後、デスクトップPCに転送し、Microsoft Excel等の表計算ソフトでメニューから"開く"を選択して、該当ファイルを選択して下さい。

● Agenda(スケジュール帳)

Agendaには"アジェンダの同期..."(Agenda synchronisation...)というデスクトップPCのスケジュールソフトとの連携機能がありますが、これは日本語での使用には対応していません。AgendaとデスクトップPCで連携するにはエントリごとに日本語文字列を送受信させる必要があります。

● Jotter(メモ帳)

Jotterについても Agendaと同様エントリごと日本語文字列を送受信させる必要があります。



● Data(データベース)

Dataにはファイルメニューの"その他"に"テキスト読み込み.."と"テキスト書き出し..."機能が装備されています。この機能を使って、デスクトップPCと相互にデータベースファイルをやりとりすることが出来ます。既にデスクトップPCで住所録等を作成されている方は、この機能を使ってPSIONに転送することが可能です。その手順は以下の通りです。

○ PC から PSION

1. あらかじめ、PSIONのDataアプリケーションで必要なラベルを作成しておきます
2. PCでファイルメーカー等のデータベースソフトからテキスト書き出しをします。その際、コンマ区切りで書きだして下さい
3. 文字コードをUTF-8に変換します。変換には以下のツールをお使い下さい

◆ WindowsPCの場合

- ・ アプロツールTM エディター WindowsPC用シェアウェア
- ・ xyzzzy WindowsPC用フリーウェア

◆ Macintoshの場合

- ・ Jedit Macintosh用シェアウェア
- ・ ふみばこ Macintosh用フリーウェア

※これらのツールはVector(ベクター<<http://www.vector.co.jp>>)などのダウンロード・サイトから入手していただくことが出来ます

※UTF-8への変換はPSIONに転送後、一度、Wordでテキストファイル読み込みを行い、クリップボード書き出し機能を用いてテキストファイルを作成することでも変換することが出来ます

4. PSIONのDataアプリケーションでファイルメニューの"その他"より"テキスト読み込み..."を選択します
5. テキスト読み込みダイアログで"オプション..."ボタンをタップして、読み込みオプションダイアログで"データを囲む文字"をダブルクォートに"ラベルを区切る文字"を"コンマ"に、"登録を区切る文字"を"改行"にして、OKボタンをタップします
6. 該当ファイルを選択してOKボタンをタップするとデータが読み込まれます



○ PSION から PC

PSIONのDataアプリケーションより、デスクトップPCにデータベースファイルを転送するには、以下の手順で行います。

- 1.Data アプリケーションのファイルメニューの"その他"より"テキスト書き出し ..."を選択します
2. ファイル書き出しダイアログで"オプション ..." ボタンをタップして、書き出しオプションダイアログで"データを囲む文字"を"ダブルクォート"に"ラベルを区切る文字"を"コンマ"に、"登録を区切る文字"を"改行"にして、OK ボタンをタップします
3. ファイル名と保存場所を指定して OK ボタンをタップします
4. 書き出したテキストファイルをデスクトップPCに転送後、文字コードを UTF-8 から ShiftJIS に変換します。変換には前述のツールを使います

※この行程をPSION上で行うことも出来ます。その手順は一度、WordアプリケーションでDataアプリケーションより書き出したテキストファイルをファイルメニューの"その他"より"テキストファイル読み込み ..." で読みこんでから全文を選択し、クリップボードにコピーしてからUniFEPのクリップボード書き出し機能で各プラットフォームに合わせた形式でテキストファイルを作成して下さい

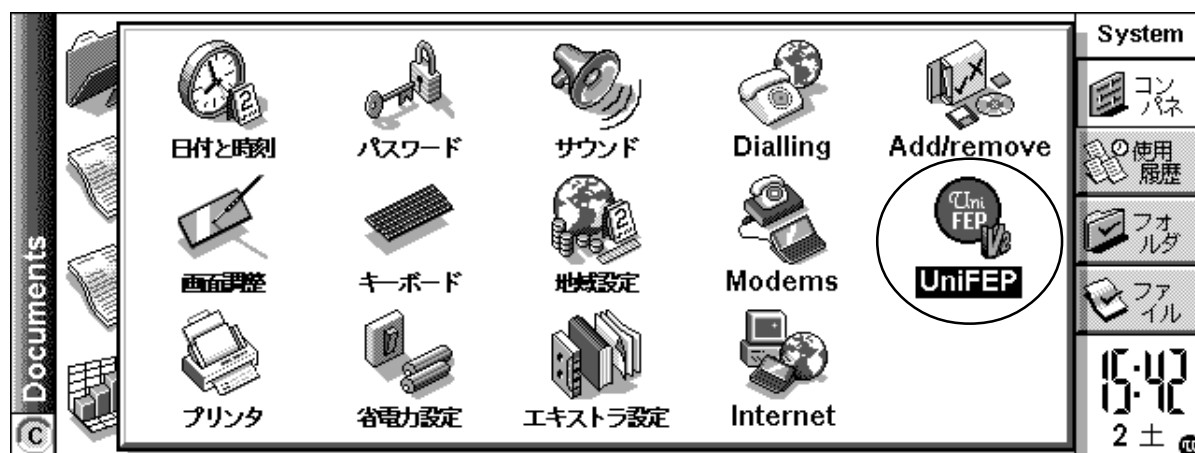
5. データベースソフトで取り込み機能を用いて、コンマ区切り形式で転送したテキストファイルを読み込みます
6. 以上でデスクトップPCのデータベースソフトに読み込むことが出来ます



■第9章 UniFEP 環境設定

ここではUniFEPを扱う上で便利な設定について説明します。

System より、コントロールパネル(コンパネ)を開いて "UniFEP" をタップします。



● UniFEP 設定



○ UniFEP を起動

チェックを入れることでUniFEPパレットを起動します

○ パレットの表示文字数

パレット内に表示させる文字数を設定します。1文字から30文字までの文字数が設定出来ます

○ パレットの大きさ

パレットのサイズを最小、小さい、通常、大きいの中から設定出来ます

また、パレットのサイズに合わせてパレット内のフォントのサイズも変更されます

○ 候補メニュー表示まで

候補メニューが表示されるまでの変換回数が設定できます。1から20までの回数が設定出来ます

○ 右上アイコン

UniFEP が起動時に表示される  マークの表示位置を、変更出来ます



●表示



○表示の切り替え

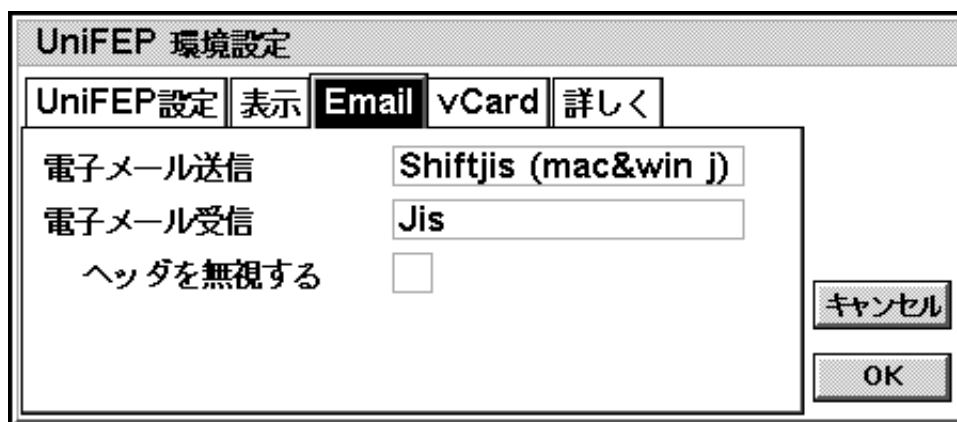
チェックを入れることで日本語を使用することが出来ます。

チェックを入れるもしくは外した後は設定を有効にする為に、再起動する必要があります。また、チェックを外して再起動することにより、UniFEPの動作は全て終了します

○システムフォント ※5mxのみ

システムフォントを"Arial"にするとUniFEPのメニューが太字に切り替わります。また、"TB Gothic"にすると細字に切り替わります

●Email



○電子メール送信

電子メールを送信時のエンコードを指定します。

※ Email で日本語をやり取りする際の文字コードは通常 JIS が多く使われますが、EPOC の Email アプリケーションではメール送信時の文字コードを JIS に指定すると、改行位置等に問題があるため、送信時は Shift JIS に指定することを推奨します

○電子メール受信

電子メールを受信時の文字コードを指定します。

○ヘッダを無視する

電子メール受信時にヘッダの文字コード情報を無視して強制的に指定した文字コードで受信する際にチェックを入れます。メールの受信トラブルで文字化けの際に用いてみて下さい。

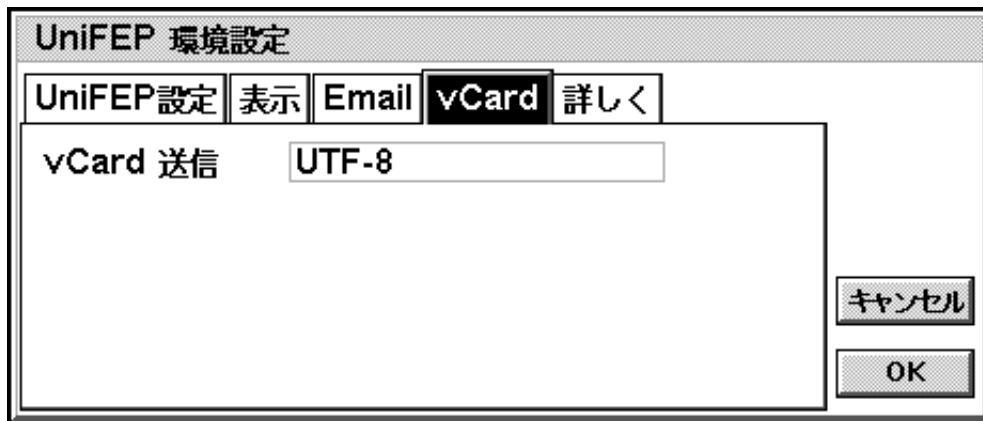


● VCard

○ VCard エンコーディング

赤外線による名刺交換の際の文字コードを指定します。

他機種と名刺交換をする場合には送信時のみ有効な機能です。その場合、相手側のプラットフォームに合わせた文字コードを指定します。UniFEPがインストールされたPSION同士はUTF-8、他の機種では通常 Shift JIS になります。



※現在の仕様では、他の機種からの名刺の受信には対応しておりません

● 詳しく



○ 学習辞書単語数

学習機能により学習される単語数を設定します。

ここで設定した単語数を越えた時点で、学習されたデータは新しいものに書き換えられます

○ 無効コードを無視

テキストファイルをUTF-8以外の文字コードで書き出す際に、Unicodeで規定された文字が他の文字コードに存在しない場合、通常その部分がコード番号になります。この部分を常に削除する場合にチェックを入れます。



■第 10 章 ユーザ辞書機能について

UniFEPには単語登録機能を備えていますが、ユーザー辞書のデータはワープロソフトや表計算ソフトを使用して作成することも可能です。ユーザ辞書用のデータファイルをデスクトップPCで作成する事により、デスクトップPCでお使いになられているユーザ辞書データを流用する事が可能になります。これにより UniFEP で一層スムーズな日本語入力が可能になります。

●作成の手順

- 1.PC に於て、ユーザ辞書用のデータファイルを作成
2. データファイルの文字コードを、UTF-8（8 ビット Unicode）形式に変換
3. データファイルを、PSION 本体に転送
- 4.UniFEP にて読み込み

●作成方法

○デスクトップ PC に於て、ユーザ辞書用のデータファイルを作成

1. ユーザ辞書用のデータを入力

下記のフォーマットに従って、ユーザ辞書に登録するデータを作成します。

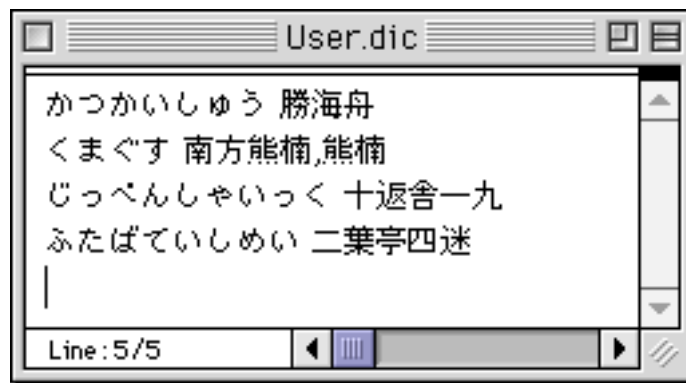
よみ	半角スペース	登録語句	改行
かつかいしゅう		勝海舟	
くまぐす		南方熊楠,熊楠	
じっぺんしゃいっく		十返舎一九	
ふたばていしめい		二葉亭四迷	

同一のよみに対し、複数の漢字を登録したい場合は“,”で区切って登録して下さい。尚、よみとして登録出来るのは“ひらがな”のみです。

	A	B
1	かつかいしゅう 勝海舟	
2	くまぐす 南方熊楠,熊楠	
3	じっぺんしゃいっく 十返舎一九	
4	ふたばていしめい 二葉亭四迷	
5		
6		
7		

表計算ソフトでの入力例





ワープロソフトでの入力例

2. 入力データを並び替え

入力したデータを"よみ"に対して、文字コード順(≒五十音順)に並び替え(ソート)します。ワープロソフトで作成した場合は手動で並び換えを行い、表計算ソフトの場合はソート機能を使うと便利です。

※文字コード順のソートでは清音の次に濁音が並びます。表計算ソフトのソート機能では濁音の有無が無視される場合が有りますので、ソート後は濁音を含む登録語句の位置を確認して下さい

3. ファイルの保存

ユーザ辞書用のデータファイルとして保存します。保存形式はテキストファイルです。表計算ソフトを用いた場合、テキストファイルとして保存する場合に余計な文字等がデータに含まれない様に注意して下さい。もし、余計な文字列が入ってしまう場合は、そのテキストファイルを一旦テキストエディタなどで開き、余計な文字を消して下さい。尚、ここで作成したデータファイルですが、後にユーザ辞書へ語句を追加する時などこのデータファイルに追加する事で更新が容易に行えますので、PCに保存しておく事をお勧め致します。

○データファイルを、UTF-8 (8ビット Unicode) 形式に変換

1.Windows や MacOS の場合、通常は ShiftJIS 形式の文字コードで保存されています。しかし、UniFEP では UTF-8 形式を採用しておりますので、ShiftJIS を UTF-8 に変換するツールを準備する必要があります。以下に、それらツールの代表例を記します

◆ WindowsPC の場合

- ・ アプロツール TM エディター WindowsPC 用シェアウェア
- ・ xyzzzy WindowsPC 用フリーウェア

◆ Macintosh の場合

- ・ Jedit Macintosh 用シェアウェア
- ・ ふみばこ Macintosh 用フリーウェア

※これらのツールは Vector(ベクター<<http://www.vector.co.jp>>) などのダウンロード・サイトから入手していただくことができます。



2.UTF-8に変換する際、改行コードの指定を必要とされる場合がありますが、ユーザ辞書として有効な改行コードは"CR+LF"（主に Windows）、"LF"（主に UNIX）です。"CR"（主に MacOS）に指定してもユーザ辞書として認識されませんのでご注意ください

3. 変換後のファイル名を "User.dic" にして下さい

※これら ShiftJIS 形式から UTF-8 形式への変換は、PSION 上で UniFEP の機能を用いて行う事も可能です。その場合は、ソート後のデータファイルを PSION 本体に転送し、転送されたデータファイルを PSION 本体の Word へ UniFEP の "テキストファイル読み込み ..." 機能で読み込んで下さい。読み込み後、Word の File メニューの "More" から "Export as text file" コマンドを使用して、ファイル名を "User.dic" として書き出して下さい。任意の場所に書きだしたファイルは、System フォルダ内の Unifep フォルダにコピーして下さい

○データファイルを、PSION 本体に転送

- 1."User.dic" を PSION 本体に転送する際には PSIWin、もしくは MacConnect を用いて下さい
2. 転送先ですが、UniFEP のインストール先ドライブにある System フォルダ内の Unifep フォルダ内にコピーして下さい

○UniFEP にて読み込み

1. ユーザ辞書を読み込むには、一旦 UniFEP パレットを閉じる必要があります
2. コントロールパネル(コンパネ)内の UniFEP アイコンから UniFEP 環境設定ダイアログを開き、UniFEP 設定の項目で "UniFEP を起動" チェックボックスを外して、OK ボタンをタップして下さい
3. UniFEP パレットが完全に閉じた事を確認した後に、再度 "UniFEP を起動" チェックボックスにチェックを入れて OK ボタンをタップして下さい
4. UniFEP パレットが表示されます。これでユーザ辞書が有効になりました





■第 11 章 バックアップとレストアについて

●バックアップを行うには

UniFEPをインストール後、最初にバックアップをとるときには、UniFEPを完全に終了させなければ、バックアップ中にエラーが発生します。これはシステムの中でUniFEPのプログラムの動作を、バックアッププログラムが終了させることが出来ない為です。UniFEP環境設定の表示で"表示の切り替え"のチェックを外して、リセットさせてからバックアップを取って下さい。

PSIONのバックアッププログラムは変更箇所のみを、バックアップデータとして保存します。この為、UniFEPをインストール後、バックアップを一度とってあれば、それ以降はUniFEPを終了させることなくUniFEPの起動中にもバックアップをとることが出来ます。

●レストアを行うには

レストアコマンド実行後、追加インストールされているプログラムによっては再インストールが必要になります。UniFEPをインストールされている場合にもレストア後はUniFEPを上書きで再インストールして下さい。UniFEPの設定はそのまま残ります。



■第 12 章 その他の仕様について

- ファイル名としてUniFEPで日本語を用いたファイルは、PCにマウントした際に、デスクトップにコピーが出来ません
- バッテリーの残量が減ると、変換バッファの枠が濃くなり、バッテリーの不足を知らせます
- Word上で日本語のスタイルをアンダーラインにした場合、下線が途切れます





■第 13 章 ローマ字変換表

あ	あ	い	う	え	お
	a	i	u	e	o
	xa	xi	xu	xe	xo
	うゝ あ	うゝ い	うゝ	うゝ え	うゝ お
	va	vi	vu	ve	vo
か	か	き	く	け	こ
	ka	ki	ku	ke	ko
	が	ぎ	ぐ	げ	ご
	ga	gi	gu	ge	go
	きや	きい	きゅ	きえ	きよ
	kya	kyi	kyu	kye	kyo
	ぎや	ぎい	ぎゅ	ぎえ	ぎお
	gya	gyi	gyu	gye	gyo
	くあ	くい		くえ	くお
	qa	qi		qe	qo
さ	さ	し	す	せ	そ
	sa	si	su	se	so
		shi			
	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
	za	zi	zu	ze	zo
		ji			
	しゃ	しい	しゅ	しえ	しよ
	sya	syi	syu	sye	syo
	sha		shu	she	sho
	じゃ	じい	じゅ	じえ	じよ
	zya	zyi	zyu	zye	zyo
	jya	jyi	jyu	jye	jyo
	ja		ju	je	jo
た	た	ち	つ	て	と
	ta	ti	tu	te	to
	だ	ぢ	づ	で	ど
	da	di	du	de	do
		dji	dzu		
		dzi			
	てや	てい	てゅ	てえ	てよ
	tha	thi	thu	the	tho
	でや	でい	でゅ	でえ	でよ
	dha	dhi	dhu	dhe	dho
	ちや	ちい	ちゅ	ちえ	ちよ
	cya	cyi	cyu	cye	cyo
	tya		tyu	tye	tyo
	cha		chu	che	cho
	ぢや	ぢい	ぢゅ	ぢえ	ぢよ
	dya	dyi	dyu	dye	dyo
	dza			dze	dzo





な	な	に	ぬ	ね	の
	na	ni	nu	ne	no
	にや	にい	にゆ	にえ	によ
	nya	nyi	nyu	nye	nyo
は	は	ひ	ふ	へ	ほ
	ha	hi	hu	he	ho
			fu		
	ば	び	ぶ	べ	ぼ
	ba	bi	bu	be	bo
	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
	pa	pi	pu	pe	po
	ひや	ひい	ひゆ	ひえ	ひよ
	hya	hyi	hyu	hye	hyo
	ふあ	ふい		ふえ	ふお
	fa	fi		fe	fo
	ふや		ふゆ		ふよ
	fya		fyu		fyo
	びや	びい	びゆ	びえ	びよ
	pya	pyi	pyu	pye	pyo
	びや	びい	びゆ	びえ	びよ
	bya	byi	byu	bye	byo
ま	ま	み	む	め	も
	ma	mi	mu	me	mo
	みや	みい	みゆ	みえ	みよ
	mya	myi	myu	mye	myo
や	や		ゆ	いえ	よ
	ya		yu	ye	yo
	や		ゆ		よ
	xya		xyu		xye
ら	ら	り	る	れ	ろ
	ra	ri	ru	re	ro
	la	li	lu	le	lo
	りや	りい	りゆ	りえ	りよ
	rya	ryi	ryu	rye	ryo
わ	わ	ゐ	う	ゑ	を
	wa	wi	wu	we	wo
ん	ん				
	nn				

※つまる音節は次の音節の最初の子音を重ねて入力します。

